

令和6年 第4回

戸田市教育委員会定例会

令和6年4月18日

戸田市教育委員会

第4回教育委員会（定例会）次第

1 開会

2 前回の会議録の承認

3 教育委員提案 別添 資料 1のとおり

4 報告事項 別添 資料 2のとおり

5 議事

ページ

(1) 専決処理事項の報告

報告第 2号 令和6年度戸田市就学支援委員会の委嘱について【秘密会】……………【当日配布】

6 その他

(1) 次回の教育委員会の日程（案）

令和6年5月16日（木）午後3時30分～

(2) その他

7 閉 会

教育委員提案

令和6年第4回教育委員会(定例会)

令和6年4月18日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

1 教育委員提案

ページ

教職員用端末の一元化について…………… 1
(教育総務課)

教員研修の高度化について…………… 7
(教育政策室)

令和6年4月 教育委員提案

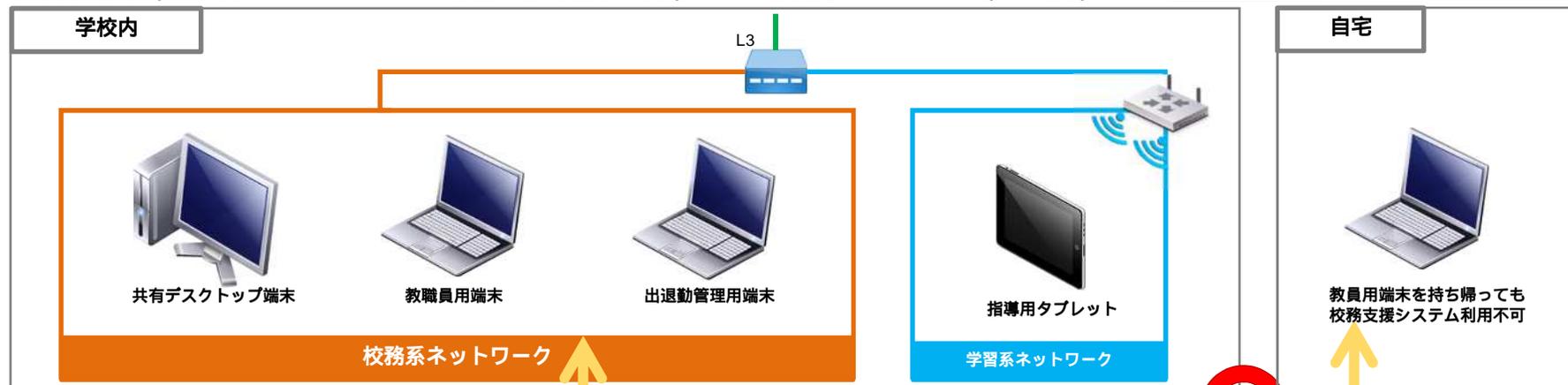
教職員用端末の一元化について

戸田市教育委員会
教育総務課

ネットワーク一元化実施前（令和5年度夏まで）

○ネットワーク一元化実施前

校務系端末（870台 + デスクトップ18台、出退勤用18台） + 学習系タブレット（680台） = 合計1,586台



校務PCを持ち帰っても利用不可、校務PCは職員室（有線）のみ利用可

令和5年度の夏までは教育ネットワーク（Edu-net）は業務の性質に応じ、「校務系¹」と「学習系²」の二つのネットワークに分離して運用。この仕組は平成27年の日本年金機構に対する不正アクセスに端を発した政府全体のセキュリティ対策を踏まえたもので、ネットワーク間のデータの閲覧や受け渡しを制限することで、データの流出・漏洩を防ぐもの。

しかしながら、ネットワークを分離することで、校務系、学習系、それぞれ別で端末を調達する必要があり、教職員数より多い台数の端末を整備していたが、実際には数が不足している状況で端末の追加要望の声が現場サイドから多くあった。

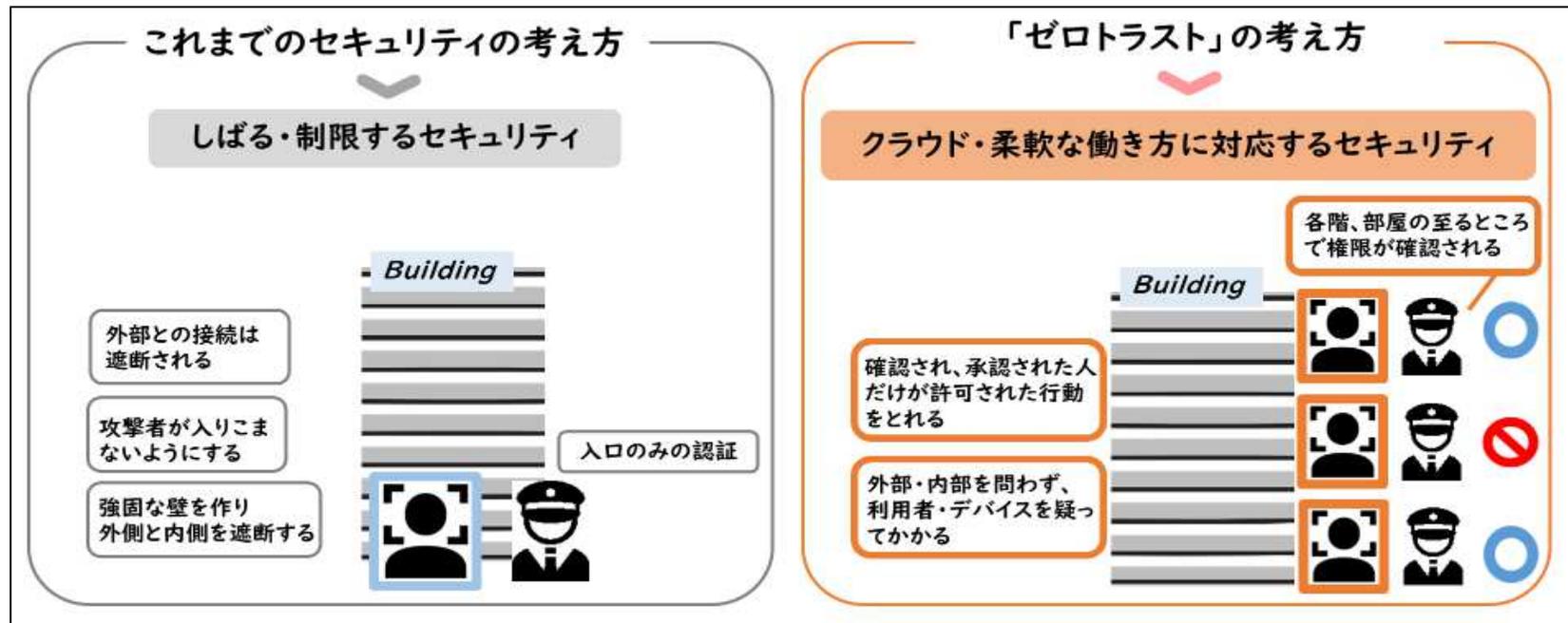
また、GIGAスクール構想による児童生徒の1人1台端末の整備により、膨大な学習ログ（データ）が生成されているが、ネットワークが分離されていることで、校務系での円滑なデータ利用が困難な状況。また、感染症対策や働き方や活用の柔軟性に対応するため、自宅への持ち帰りや課外授業等、利用場所を選ばない環境構築も必要な状況。

これらを解決し、システムの効率化、柔軟な働き方等を実現するためには、**新たなセキュリティ対策が必要**

- 1 校務系：児童生徒の成績、出欠席等の学校が保有する情報資産うち、それらの情報を学校・学級の管理運営、学習指導等に活用することを想定しており、かつ、当該情報に児童生徒がアクセスすることが想定されていない情報を扱うネットワーク（本市では有線ネットワークとして整備）
- 2 学習系：児童生徒のワークシート、作品等の学校が保有する情報資産のうち、それらの情報を学校における教育活動において活用することを想定しており、かつ、当該情報に教員及び児童生徒がアクセスすることが想定されている情報を扱うネットワーク（本市では無線ネットワークとして整備）

新たなセキュリティ対策（ゼロトラスト対策）

セキュリティ対策の考え方



ゼロトラストとは

「全てのアクセスを信頼せず、必ず確認せよ」という考え方

外部は当然のこと、内部のアクセスであっても信頼しないという前提に立ってセキュリティを施すもの。

ゼロトラストの考え方が必要となった背景には、

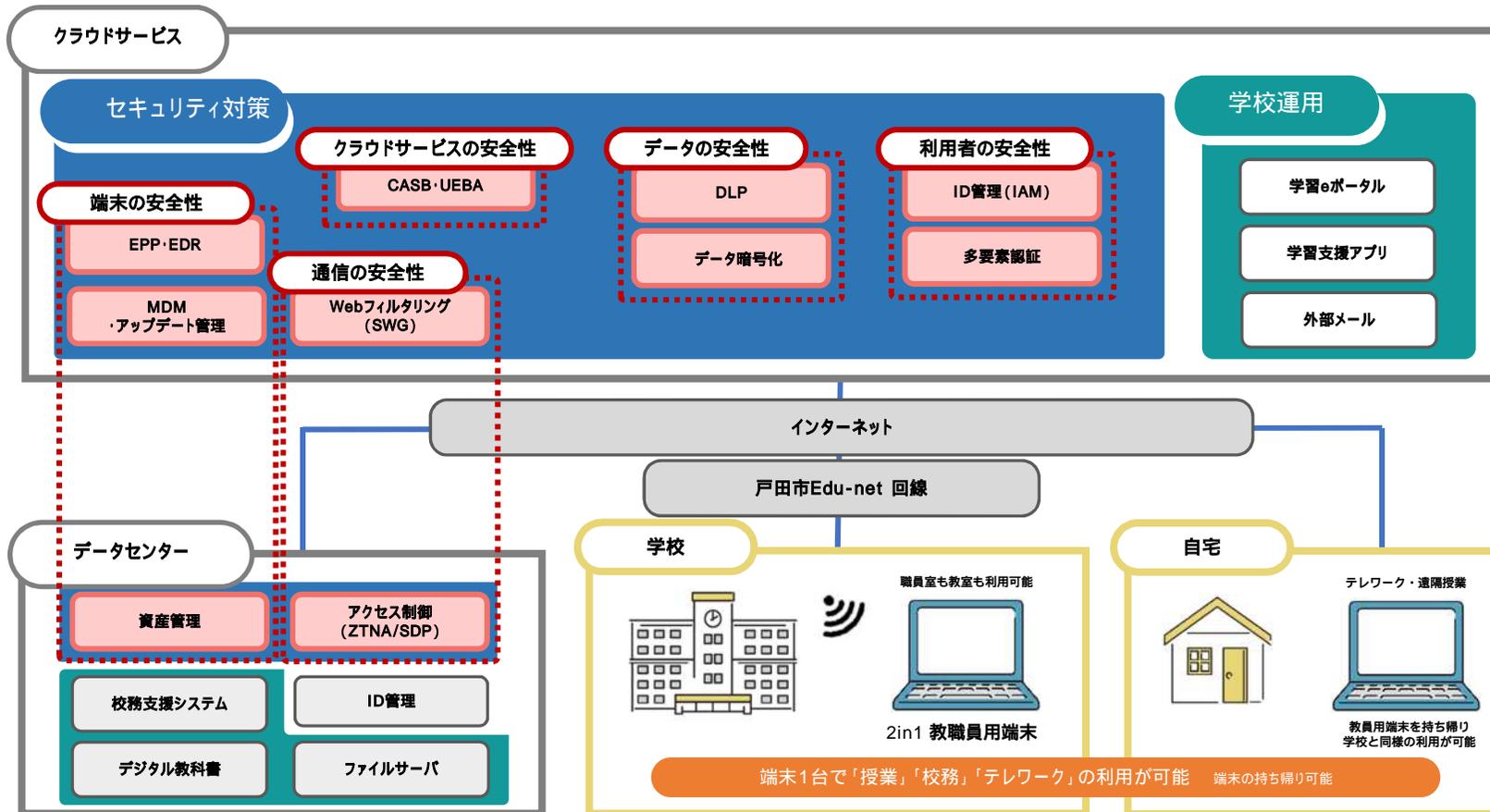
- ・サイバー攻撃の高度化や内部不正などのセキュリティ脅威の増加
- ・新型コロナウイルス感染症の流行により加速したリモートワークの普及
- ・サーバやソフトウェア等を自社の管理施設内で管理・運用する状態から外部管理・運用型のクラウドサービスへの利用拡大により、どこまでが内部のネットワークかという境界があいまいになってきたこと

などが挙げられる。

今後さらに、業務を安全かつ効率的に実施していくためにはこの考え方に基づくセキュリティが必要不可欠。

新たなセキュリティ対策（ゼロトラスト対策）

戸田市版ゼロトラスト概要図



ゼロトラストに基づくセキュリティ対策を以下の5つの観点で実施し、強化

- ・ 端末の安全性・・・ ウィルス検出や対応、遠隔での統制や監視の実施
- ・ 通信の安全性・・・ ウィルス等の不正プログラムのブロックや業務に関係のないサイトへの アクセス制限の実施
- ・ クラウドサービス・・・クラウドサービス利用におけるアクセス権限の制御、使用の監視の実施
- ・ データの安全性・・・ データの監視や保護、暗号化の実施
- ・ 利用者の安全性・・・ IDやパスワードだけでなく顔認証を施した多要素認証の導入。業務内容 に応じたアクセス制御の実施

指導者用端末の1人1台化・校務系と学習系のネットワーク一元化

○ネットワーク一元化実施後（現在）

教職員用端末（1082台 + デスクトップ18台、出退勤用18台） = 1,118台



端末1台で「授業」「校務」「テレワーク」の利用が可能

○セキュリティを担保しながら、効率化や利便性向上を実現した新たな端末構成

今までの教職員用端末

校務用端末
指導用端末

2台利用でそれぞれ利用用途が制限されている



新しい教職員用端末

1台で校務も授業利用も可能

【学校現場の声】

校務系、学習系の各データを1台で閲覧、処理できるようになり、業務の効率性が上がった。

対策を施すことで、高いセキュリティのもと個人情報扱う校務系業務を含め端末1台で業務を行うことが可能となり、システムの効率化や柔軟な働き方に寄与。

令和6年4月 教育委員提案

教員研修の高度化について

戸田市教育委員会
教育政策室

教員研修の高度化に資するモデル開発事業について

事業の目的

教育公務員特例法及び免許法の改正により、新たな研修制度が開始
新たな研修制度の必要性。多様な主体の協働による研修モデルを開発し、その成果を広く普及するとで、全国的な**研修観の転換・定着**を図る。

戸田市では

「テーマ(2):教員研修や授業研究等の高度化に関すること」を受託



「戸田市SEEPプロジェクト」を支える教員研修のアップデート



全体として

各教科等



教科等横断
PBL

PBL等が進むからこそ教科の必要性も

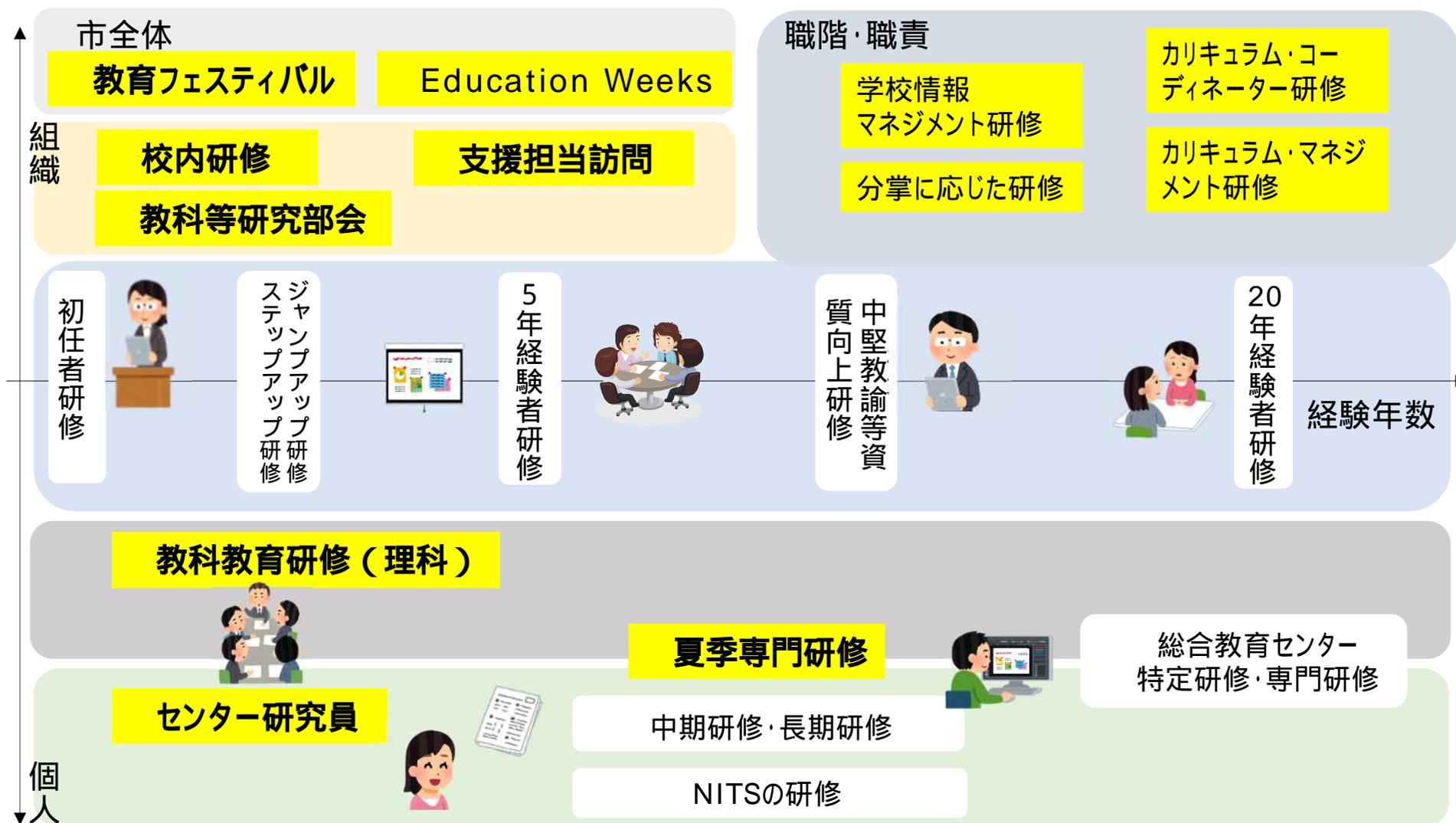
校内研修



キーワード

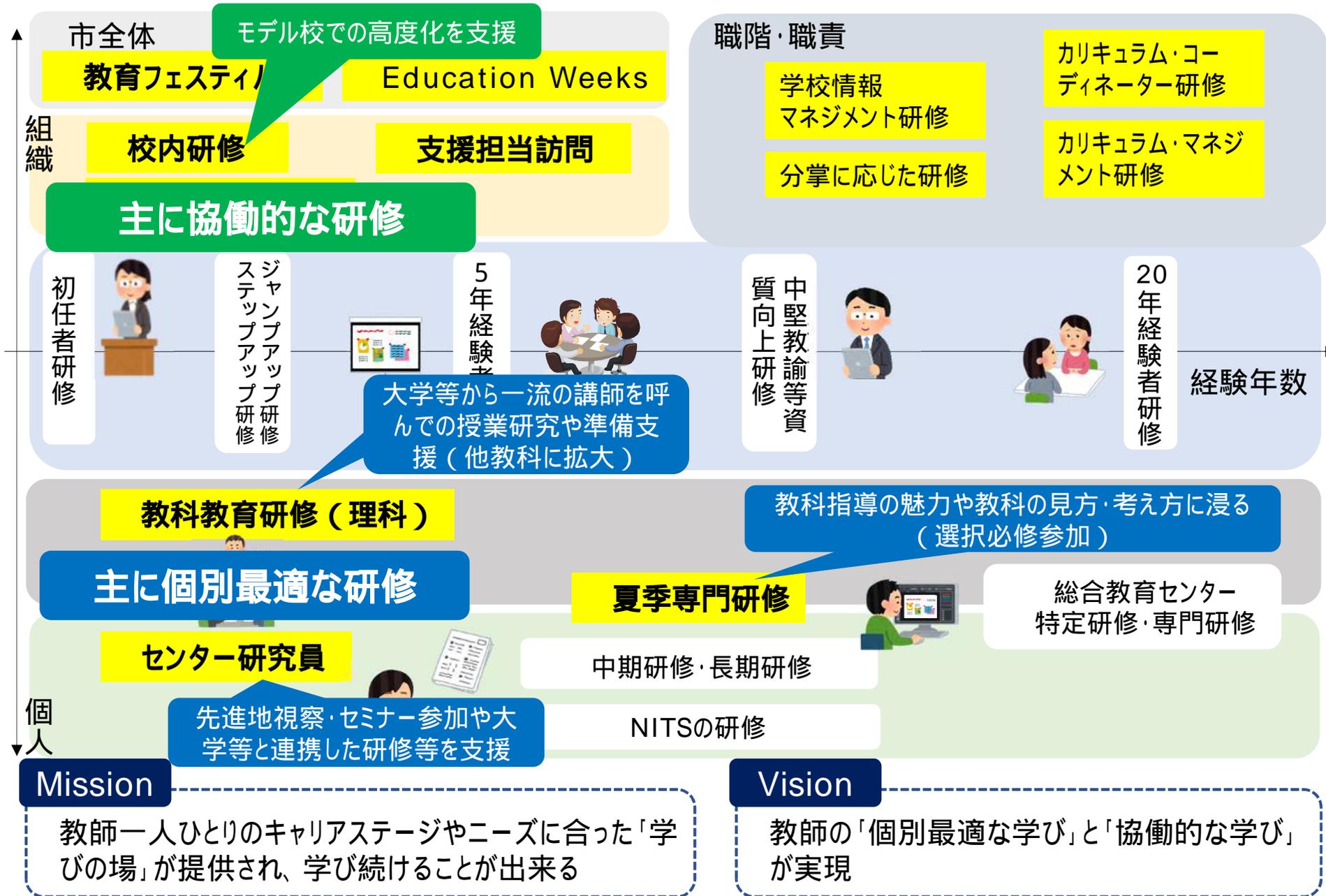
子供の学びと教師の学びは「相似形」

戸田市の研修



- 他自治体に比べて、充実した研修メニューを設定
- 産官学と連携した「社会に開かれた学校づくり」の一環として、研修においても外部の力を活用
その多くは職階・職責に応じたものであり、教師のニーズへのサポートは不十分
校内研修において、「学校のやりたい！」に向けた金銭的・物的サポートは不十分

戸田市の研修



教科教育深化プラン

- ・PBLが各校において推進されている今こそ、SEEPプロジェクトの原点である「Subject（教科教育）」を深化させ、それらを車の両輪として子供達の学びを充実していく必要。
- ・そのために、教師間の同僚性を高めつつ、共通的な基盤である授業づくりの視点と、教科の学びに夢中になるような、各教科固有の「見方・考え方」を働かせる視点の双方を強化していく。

文科省「教員研修高度化モデル事業」を活用

3本の矢からなる「教科教育深化プラン」

共通的な基盤である授業づくりの視点の浸透

「アクティブラーニング指導用ルーブリック」の更なる改善



RST（リーディング・スキル・テスト）の視点と、ユニバーサルデザインやICTの視点も組み合わせた、子供達をつまづきに対応した授業改善を全校で実施



「学級経営ルーブリック」（仮称）の策定検討

教師間の学び合いの場の拡充

各中学校区で小中の教師が互いに授業を見合う機会を促進



夏季専門研修で、教科の魅力を学ぶ機会を設定
（選択必修参加）

教科等研究部会での大学等から講師を呼んでの授業研究を支援

センター研究員制度について、参加者の拡大と運営の活性化



教育委員会によるサポート体制の充実

各教科の、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点を授業と紐付けて提示



モデル校4校における、大学・民間と連携した校内研修・授業研究等の高度化への支援

大学と連携した算数・数学、体育の研修の充実

学校経営アドバイザーによる訪問の充実



子供達の学びと教師達の学びは「相似形」

教師にも「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を！

(1) 教師のニーズに応じた個別最適な研修

- ・教科教育深化プラン推進に向けた教科の「見方・考え方」に浸る研修
- ・学校の校内研修テーマに応じた特色ある研修
- ・先進地視察

(2) 教師同士の対話、外部との連携による協働的な研修

- ・民間や大学と連携した研修
- ・協働を推進する研修環境の整備

主に個別最適な研修 市主催研修等の高度化

教科教育(大学連携)

一流の講師を招聘し、授業前～授業後までの授業研究を支援



体育・保健体育
国土館大学 細越教授



算数・数学
埼玉大学 二宮教授

教育センター研究員



センター研究員による先進地視察やセミナー参加等の支援のほか、各部会に一流の講師を招聘

教師が各教科等の見方・考え方に浸る研修



【視察報告】
生みだす子どもが育つ学校—「実証」が動く4つの教育活動—
【視察報告】
【視察報告】
【視察報告】

主に協働的な研修 校内研修の高度化

モデル校による「脱・自前主義」の校内研修



【美谷本小】大学と連携した学級経営力の向上や(一社)アルパ・エデュと連携した話す力の研修



【喜沢小】(株)LITALICOによる継続的な授業観察及びRTIミーティングの伴走支援による研修



【戸田中】福井大学やキャリアリンク(株)と連携した教科教育及びPBLの充実に向けた研修



【笹目中】フランクリン・コヴィー・エデュケーション・ジャパン(株)と連携した教師向けのリーダーシップ研修

さらに、協働性を高める研修環境の整備も実施



市主催研修の高度化

夏季教職員研修（教科等指導法研修の新設）

ねらい

教師が抱える教科等の悩みを解決する「見方・考え方」に触れる研修を通して、教材研究に生かす視点をもつことができるようにする。

内容

市内全教職員（年次研修参加者を除く）が夏季休業期間中にいずれかの教科等の研修に悉皆で参加する。参加者の選択が行いやすいよう、各教科等2回ずつ、オンラインで実施する（道徳、中英語以外）。

国語



社会



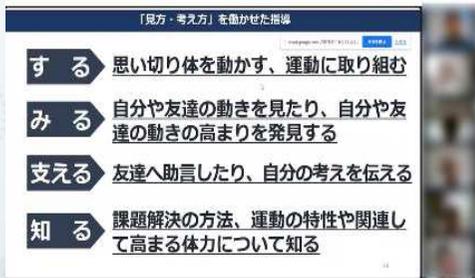
算数・数学



理科



体育・保健体育



英語（中学校）



道徳



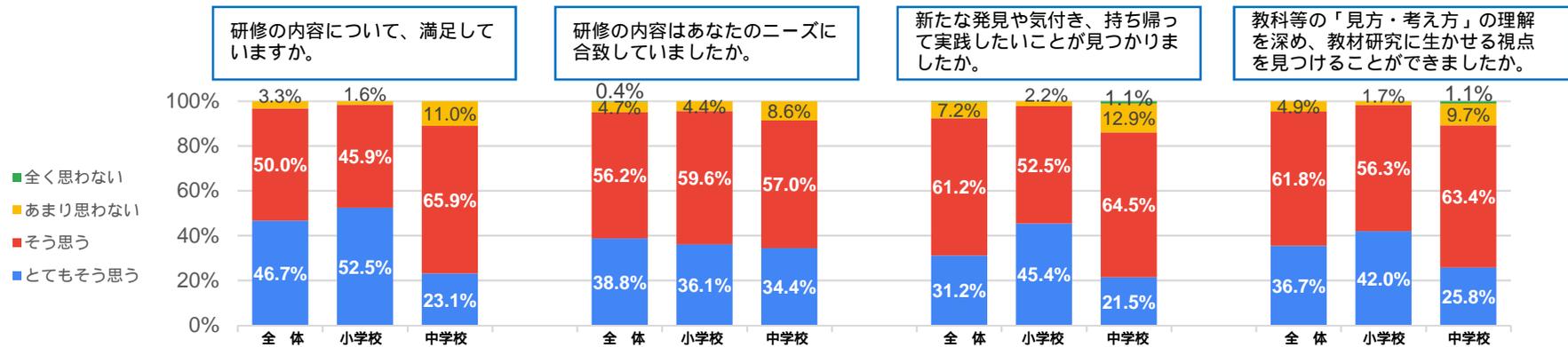
特別活動



夏季教職員研修（教科等指導法研修の新設）

成果

事後アンケート（回答数276）では、記述回答で教科等の見方・考え方を踏まえた主体的・対話的で深い学びについて具体的なイメージをもつことができたという感想が多くあった。その他、研修に対して満足感や実践意欲、ニーズのほか教科の「見方・考え方」について90%以上の教師が「とてもそう思う」「そう思う」と回答した。



課題

参加者同士の**情報交換や、具体的な事例をもっと知りたかった**という感想が散見された。オンライン開催かつ時間も短く（85分）、参加者数も多かったことが原因として考えられる。また、全体的に小学校と比べて、**中学校の回答結果が振るわなかった**。中学校では自身の教科がない場合、道徳や特活を選択しており、それも原因の一つになっている。

研修時間を一層確保（夏季以外も検討）していくことを検討する必要がある。ただし、夏季休業期間中も学校では個人面談や三者面談等を実施していたり、法定研修・年次研修等も並行して実施されていたりするため、専門研修と含めて、負担に配慮しながら**実施する研修の精選**も同時に行う必要がある。

今年度**実施のない教科**（生活、音楽、図画工作・美術、技術・家庭、総合）の実施や**学校種別**の研修（または研修内容を学校種の違い踏まえた研修）を検討する必要がある。

教科教育研修（算数・数学、体育・保健体育）

ねらい

教師が各教科等の「見方・考え方」に存分に浸り、教師も子供も教科の学びに夢中になって「見方・考え方」を働かせることのできる授業づくりを行えるようにする。

内容

教科の専門家である一流の講師を招聘し、**事前 授業 事後**までの授業研究を伴走支援いただく

算数・数学

埼玉大学

二宮裕之 教授



体育・保健体育

国土舘大学

細越淳二 教授

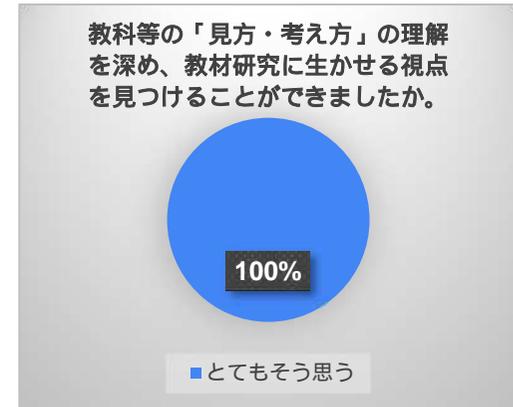
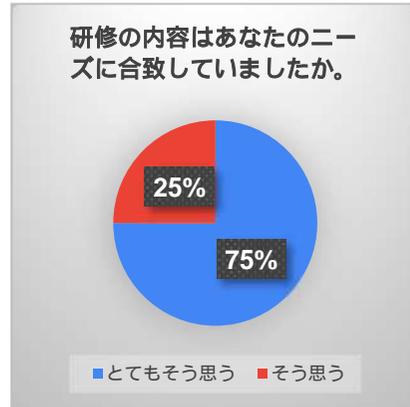
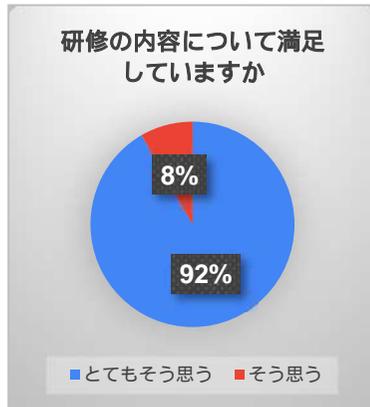


教科教育研修（算数・数学、体育・保健体育）

R6年度も継続！
（教科は調整中）

成果

事後アンケート（回答数13）では、受講者全員が、研修に対して満足感や実践意欲をもつことができ、教科の「見方・考え方」については全員が「とてもそう思う」と回答した。



参加者の声

- ▶ 自分の指導する単元の内容を深く掘り下げていただき、なぜその単元を学ぶ必要があるのか、この単元が今後どのようにほかの単元につながっていくかを学ぶことができました。方法知について学ぶ機会を設けていただくことは多いが、**突き詰めて内容知**を教えていただける機会はあまりなかったので、とても勉強になりました。
- ▶ 事前の検討段階からご指導いただき、**指導の仕方のバリエーション**が広がった。何より、授業後に的確なフィードバックをいただき、不明確だった部分が理解できた。特に、研究協議では、**基本的な運動特性**や児童の課題に対しての**具体的な支援の方法**などご指導いただくとともに、**実技を通して検討**できたことはとても有意義だった。
- ▶ 今まで一斉授業としての算数を学んできた中、子供主体の学び、令和の新しい形の学習方法について考える際に色々な不安がありました。今回の研修で二宮先生から教科の本質についてご指導いただけたことで、**自信をもって進めていくことができる部分と、改善すべき点、今後目指していくべき授業の姿をイメージ**することができました。

課題

教師の経験年次によっては、「難易度が高い」と感じた教師の回答もあった。年次の下減を設けることも検討する。また、今年度は**中学校からの参加希望が0**であったため、実施方法を工夫し、学校種問わず参加しやすくなるようにする。

センター研究員（先進地視察及び外部講師の招聘）

ねらい

センター研究員の各部会における「やりたい」を実現する支援を行うことで、各研究員のニーズに応じた学びが行えるようにする。

内容

部会に全国で活躍する有識者を招聘したり、先進地の視察したりする際の金銭的支援を行う。

有識者の招聘



先進地視察



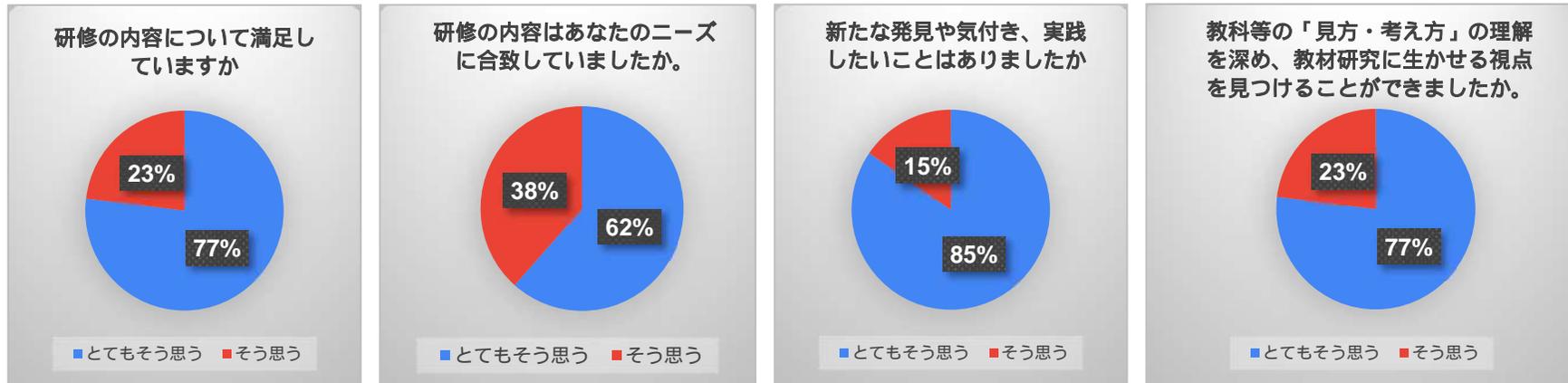
視察先の例

- ・東京学芸大学附属世田谷小学校（算数・数学）
- ・大阪教育大学附属池田小学校（算数・数学）
- ・上越教育大学附属小学校（生活・総合）
- ・延岡市立東小学校（社会） など

センター研究員（先進地視察及び外部講師の招聘）

成果

事後アンケート（回答数21）では、受講者全員が、研修に対して満足感や実践意欲をもつことができた。



参加者の声

- ▶ 初めて「世田谷算数夏季セミナー」に参加しました。ポイントになるところや自分だったらどう進めたか等々、いろいろと考えた上で協議に参加できました。**算数に対する新しい見方や考え方に触れる良い機会**になりました。
- ▶ オンラインによって状況は変わってきたものの、これまで**県内が限界であったところ、県外に出て**、その地域に合った学びや研究開発の事例などを学ぶことができたのは大きな刺激となった。それをそのまま導入することはできないかもしれないが、**本校の実態に即してアレンジをしたい!**と強く感じた。
- ▶ 他校のSNSでその学校の校内研修の指導をされていた先生にセンター研でご指導いただける機会をえられたことは貴重な学びとなりました（一度ご指導いただきたいと思っていたので）。**センター研という小さなコミュニティだからこそ、校内研修では聞きづらい小さな悩みから新しい情報まで、近い距離でお話をきくことができたのが大変勉強**になりました。

課題

センター研究員という枠であるからこそ、教師のニーズに応じた学びができたものの、視察研修は学校の理解も必要である。また、外部講師の招聘は、マイスターを中心に研究員の主体性が求められる。



モデル校における校内研修の高度化

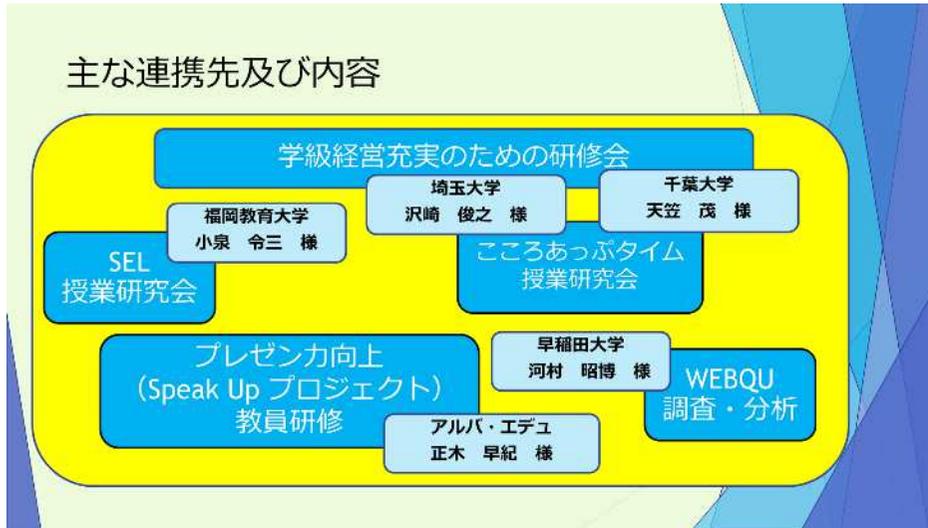
美谷本小学校

多様な産官学との連携による協働的な研修

研究主題

豊かに学び合い、未来を拓く児童の育成 ～心を育てる学級経営 SEEPプロジェクト～

主な連携先及び内容



学級生活満足度の変化

1回目

4群	満足	非承認	侵害知	不満足	要支援	欠席	長期欠席
実施人数	140人	43人	61人	51人	15人	1人	2人

2回目

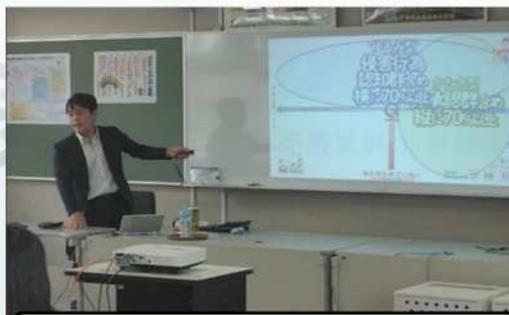
4群	満足	非承認	侵害知	不満足	要支援	欠席	長期欠席
実施人数	171人	43人	48人	38人	12人	1人	2人

満足群 140 → 171

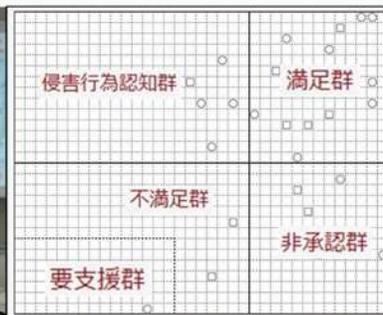
不満足群 51 → 38

侵害知群 61 → 48

要支援群 15 → 12



講義 WEBQUの分析方法について



【○成果と 課題】

○学級生活満足度では、「満足群」にあたる児童数が大幅に増加した。また「不満足群」、「侵害知群」、「要支援群」にあたる児童数は減少した。WEBQUの結果分析を充実させたことで、学級経営の充実につなげることができた。

学級の状態では「不安定群」にあたる学級がある。学級経営をチームで支援する組織体制が必要である。

WEBQU活用研修の様子

喜沢小学校

「産官学による伴走支援」と「対話型研修」スタイルの導入

研究主題 児童とともに創る未来の学校～PBS×個別最適な学び～

伴走支援

SWPBS×個別最適な学び×個別最適な支援
RTIミーティング、アセスメント、訪問支援による授業観察とフィードバックを行い、教職員への個別最適な支援の助言

一般社団法人UNIVA 理事 野口晃菜氏
白梅学園非常勤講師 前川圭一郎氏
株式会社LITALICO

個別最適な学びの充実

教師のコーチング・ファシリテーター力の向上

アチーブメント株式会社

先進地視察

広島県・大阪府・長野県

全教職員による校外体験研修

ダイアログ・ダイバーシティ
ミュージアム「対話の森」への
参加・LITALICO本社への視察)

データの利活用

データを活用した研究実践の効果検証
・対話型研修へのデータ活用方法助言

戸田市教育データ利活用アンバサダー
森俊郎氏

対話型研修

「Kizawa研修スタイル」の構築

長時間の集合型研修から、自由度が高く、短時間・少人数での機動的な非集合型の新しい研修システム（ジャストインタイム型）の構築及び職員室後方の環境整備

「コラボレーションルーム」の整備

タッチパネル式ディスプレイや可動式の机・椅子、大型ホワイトボード等を導入し、流動的な対話を可能にする研修ルーム整備

対話型の研修

SWPBS・個別最適な学び・PBL等の研修や実践の成果をデータで可視化し、対話的・協働的に効果検証を行い、改善サイクルを回していく研修会の実施

経験年数等の関係なく対話をしやすくするために、「みんなの学校」を視聴し対話をする研修会を実施



戸田中学校

3つのアプローチによる **同一步調の研修の見直し**

研究主題 対話的・協働的な学びが、非認知能力を高め、学力を伸ばす～PBSからPBLへ～

戸田中学校 校内研修マップ① ver.2023.09

■「最上位目標」…私たちは何のために学ぶの？

スタッフみんなで考えた「目指す生徒像」

自ら人生を切り拓く生徒

■「研究主題」…何を学ぶの？

対話的・協働的な学びが、非認知能力を高め
学力を伸ばす ～PBSからPBLへ～

■「校内研修」…どのように学ぶの？

研究を推進する3つの「コア研修」

「生徒を主語」とするための教師の学び

1 PBS研修 ☆若手教員向け ・「前向きな行動支援」を通じた授業改善や学級経営、PBL推進など ＜東京学芸大学・白梅学園大学による支援＞	2 PBL研修 ☆担当・全員で実施 ・月例ミーティング ・授業の検証 ・委員会活動や係活動のPBL促進など ＜キャリアリンクによる支援＞	3 学校課題研修 ☆担当・全員で実施 ・「主体的・対話的で深い学び」に係る研修 ・生徒指導・生徒理解に係る研修 ・先進事例視察 ＜福井大学による支援＞
---------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

研究推進委員会による研修の企画・運営
＜福井大学・キャリアリンクによる支援＞

職員を学びを支える
文部科学省「教員研修高度化モデル」事業

多様な外部指導者から学びのチャンスを得ます！

多目的室を「教師の学びの場」にリニューアル！
昇降テーブル・スツール・プロジェクター設置

(1) PBS研修

普段の授業や学級経営の様子を参観・観察する
(撮影した授業動画の視聴or授業参観)
観察した内容をもとに、指導者とともに対話する
指導内容をもとに、さらに実践を重ねる

(2) PBL研修

学年で指導者に研修やMTGを依頼して、指導者と対話
学年内で協議 実践 指導者に報告 振り返りのサイクル



(3) 教科横断チーム研修

「主体的・対話的で深い学びを促すための授業改善」をテーマに教科横断チームを編成し、福井大学の支援による研修

理・数・技チーム
国・英チーム
社・家・特チーム
音・体・美チーム

先進校視察し、チームへ事例を共有



笹目中学校 教師のマインドセットづくりに向けた**研修推進コンサルの導入**

研究主題 個別最適な学びと協働的な学びの視点を取り入れた授業実践

研修の高度化の全体像



【7つの習慣の概要】

- ①主体的であること
終わりを思い描く
最優先事項を優先する
Win-Winを考える
まず理解に徹し、そして理解される
シナジーを作り出す
刃を研ぐ。

研究推進委員会

コンサル（フランクリン・コヴィー・エデュケーション・ジャパン）による会議運営についての客観的な対するフィードバックを通して、目的設定から参加者の事前準備等の見直しを行い、会議の効率化と効果の最大化に向けた改善に取り組んだ。

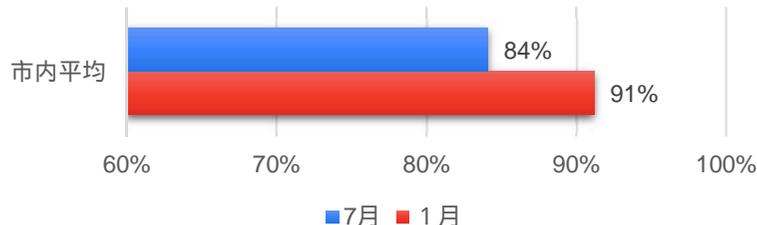
校内研修

7つの習慣の講義とともに、それらを基に教育活動への取組等を見直すグループワークを通して理解を深める。（例 を基にカウンセリングの在り方を見直すなど）

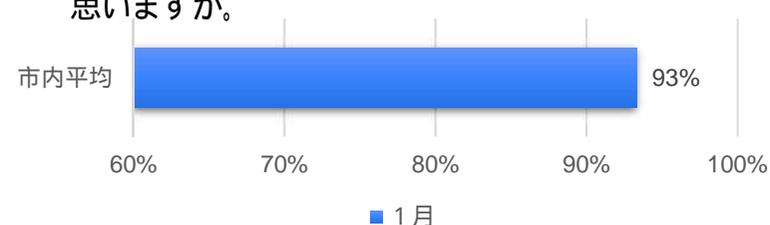
成果と課題

教師の個別最適な学びについて

ア) 研修の内容について、満足していますか。



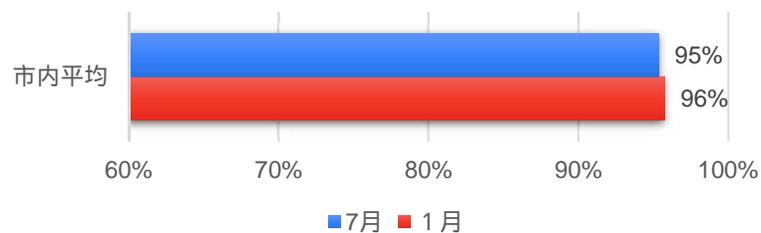
イ) 研修で学んだことを生かした実践に取り組もうと思いますか。



エ) 研修は、あなたの研修ニーズに合致している内容でしたか。



エ) 研修を自分事として捉えて参加していますか。



考察

記述回答では、ア(満足感)と感ずる理由に、RTIなど、**目の前の子供の指導・支援に直結する研修内容**を扱っていること、すぐに**実践に生かせること**、**多様な外部指導者の招聘**が多く挙げられていた。また、(実践意欲)についても同様の理由が挙げられており、**日々の実践に対する伴走支援や、それに直結する指導者との対話**が効果的であったと考えられる。

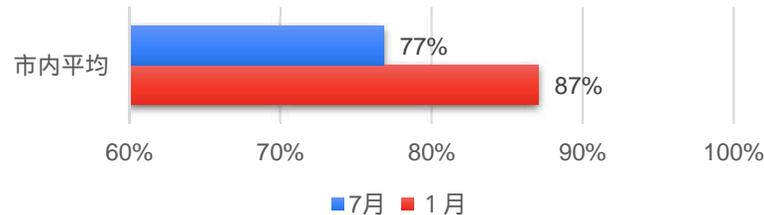
また、**多様な研修内容の実施が、自身のとニーズの発見につながった**と回答する教師も多かった。このことは研修開始前は、自身の研修ニーズがそもそも何なのかを発見できていなかったということでもあり、校内研修において幅広い内容を扱うことは、ニーズを見付ける上で効果的であった。

学んだことの実践化については、**学校種で差があり、中学校における伸びは少なかった**。否定的な回答をした者の理由として、「研修の意図がわからない」「校務、部活動で時間がない」などが挙げられており、働き方改革とともに研修観や研修の在り方について改善が必要である。

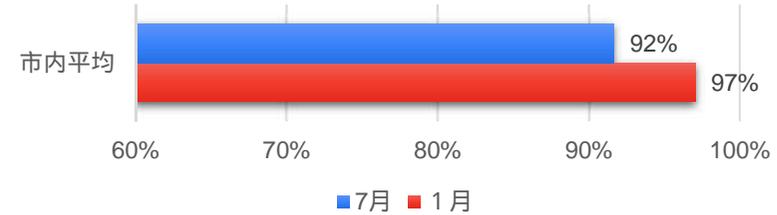
成果と課題

教師の協働的な学びについて

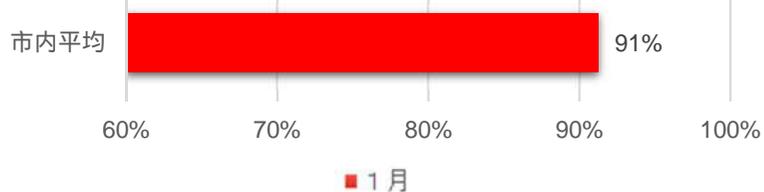
)自分の意見を積極的に発信しようとしていますか。



)同僚と学ぶことで、教員としての専門性や指導力が高まっていると思いますか。



)外部講師の支援を受けることで、専門性や指導力が高まっていると思いますか。



)教員同士の対話を通して学びを深める場や機会がありますか。



)誰もが意見を述べやすい雰囲気がありますか。



)研修の(物的)環境が充実していると思いますか。



考察

(物的環境整備)により、(協働の機会)が増え、伴って(意見の発信)や(同僚性の実感)を感じている。同僚の話を聞くことで、ア(満足感)を感じると回答した教師も多く、インプット中心ではなく、アウトプット中心の対話型研修は、協働的な学びにおいて効果的であると考えられる。

また、外部講師についてもインプットのための招聘よりも、日々の実践に係る助言者・支援者としての招聘が満足感や実践意欲にもつながっていることが記述回答からわかった。

成果と課題

総括

個別最適な学び（主に市主催研修）

効果検証の結果を見ると、すべての項目において、概ね目標値である95%を達成している。特に、**教師が自身の意思をもって参加した任意研修（教科教育研修及びセンター研究員）ではすべての項目が100%**であることは、個別最適な学びを考える上で重要な示唆である。

多様な教育課題への対応が求められる現在においても、教科等の見方・考え方を深める研修は、ニーズとして存在しており、本事業で実施したような**教師の選択による研修や外部指導者による伴走指導、先進地の視察等は実施していくべき**である。

課題として明らかとなった**校種によるや満足感等の差**については、対象者や内容を焦点化するなどの工夫も必要であるが、運営体制にも限界があり、持続可能な実施に向けては国・県レベルでの実施や基礎自治体の共同運営などの工夫も必要である。

協働的な学び（主にモデル校校内研修）

本事業における校内研修内容は、焦点化された内容ではなく、**幅広く多様な内容を扱ったことで、効果検証では肯定的な回答**が得られた。内容の深掘りができないなどの課題もあるが、学校現場の課題が多様化する中、従前の校内研修のように焦点化された内容「だけ」を追究すること自体がむしろ研修への不満につながっていたことも考察される。

協働の機会の設定が実践意欲や満足感等とも深くかかわっていること、さらに満足感が多様な外部指導者等との連携により高まっていることが明らかになった。特に、外部指導者は一方的に「指導」をする者という立場ではなく、**学校の取組に伴走して支援をしたり、助言をしたりするような関わり方が効果的**であった。

課題として、**学校のニーズに応じた外部人材をいかに確保していくか、またはマッチングしていくか**という点があり、この点は本事業で作成されたコンテンツをはじめとした国・県・大学等が作成するメニューにも期待したい。

報告事項

令和 6 年第 4 回教育委員会(定例会)

令和 6 年 4 月 1 8 日 (木)

戸田市役所 3 階 教育委員会室

1 報告事項

ページ

令和5年度入学準備金貸付内訳について……………	1
(教育総務課)	
令和6年度第1回奨学資金貸付内訳(新規分)について……………	2
(教育総務課)	
戸田市立小学校卒業児童の私立中学校等への進学者数について……………	【当日資料】
(学務課)	
令和6年度児童生徒数及び学級数について……………	【当日資料】
(学務課)	
令和6年度 指導の重点・主な施策について……………	【別添資料】
(教育政策室)	
令和5年度 戸田市教育研究集録について……………	【別添資料】
(教育政策室)	
令和6年度 学校公開日等一覧……………	3
(教育政策室)	
令和6年度 南部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問の予定について……………	4
(教育政策室)	
令和6年度戸田市民大学講座実施計画(生涯学習担当分)及び青山学院大学・ 戸田市連携講座について……………	5
(生涯学習課)	
戸田市立図書館(中央図書館)における成果連動型民間委託契約(P F S)の導入検討について 【秘密会】……………	8
(生涯学習課)	
その他	

令和5年度入学準備金貸付内訳について

学校種別		貸付単価(円)	人数(人)	貸付金額(円)
高等学校 高等専門学校 専修学校(高等課程)	国公立	300,000	7	2,100,000
	私立	500,000	7	3,500,000
大学・短期大学 専修学校(専門課程)	国公立	400,000	0	0
	私立	600,000	16	9,600,000
合 計			30	15,200,000

申請者	31人
貸付決定者	31人
貸付済者	30人
貸付辞退者	1人(公立高校に合格したため)
未貸付者	0人
貸付不決定者	0人

令和6年度第1回奨学資金貸付内訳(新規分)

学校種別		貸付単価(円) (年額)	人数(人)	貸付金額(円)
高等学校 高等専門学校 (1学年から3学年) 専修学校(高等課程)	国公立	120,000	2	240,000
	私立	180,000	2	360,000
大学・短期大学 高等専門学校 (4学年及び5学年) 専修学校(専門課程)	国公立	240,000	1	240,000
	私立	300,000	11	3,300,000
合 計			16	4,140,000

貸付申請者数 16人

貸付決定者数 16人

令和6年度 授業日・休業日振替及び宿泊行事等一覧

R6.3.26時点

報告事項

小学校		学校公開等(4~7月)		学校公開等(8月以降)		修学旅行		林間学校			運動会等						
		計画日	振替休業日	計画日	振替休業日	出発日	帰校日	出発日	帰校日	計画日	予備日	振替休業日					
1	戸田第一小	5月25日(土)	5月27日(月)	11月9日(土)	11月15日(金)	9月3日(火)	~	9月4日(水)	6月26日(水)	~	6月28日(金)	5月25日(土)	アリーナのため設定なし	5月27日(月)			
2	戸田第二小	6月15日(土)	6月17日(月)	11月2日(土)	11月5日(火)	9月12日(木)	~	9月13日(金)	7月10日(水)	~	7月12日(木)	5月18日(土)	5月21日(火)	5月20日(月)			
3	新曽小	6月15日(土)	6月17日(月)	11月2日(土)	11月5日(火)	8月29日(木)	~	8月30日(金)	10月16日(水)	~	10月18日(金)	5月25日(土)	なし	なし			
4	美谷本小	—		11月2日(土)	11月5日(火)	6月26日(水)	~	6月27日(木)	7月3日(水)	~	7月5日(金)	6月1日(土)	6月4日(火)	6月3日(月)			
5	笹目小	6月21日(金)	—	11月2日(土)	11月5日(火)	9月11日(水)	~	9月12日(木)	7月18日(木)	~	7月20日(土)	5月25日(土)	5月28日(火)	5月27日(月)			
6	戸田東小	6月15日(土)	6月17日(月)	10月5日(土)	10月7日(月)	9月3日(火)	~	9月4日(水)	7月16日(火)	~	7月18日(木)	11月2日(土)	11月6日(水)	11月5日(火)			
7	戸田南小	—		11月2日(土)	11月5日(火)	8月28日(水)	~	8月29日(木)	7月3日(水)	~	7月5日(金)	5月25日(土)	5月28日(火)	5月27日(月)			
8	喜沢小	6月15日(土)	6月17日(月)	11月2日(土)	11月5日(月)	8月29日(木)	~	8月30日(金)	7月3日(水)	~	7月5日(金)	5月25日(土)	5月27日(月)	5月28日(火)			
9	笹目東小	6月29日(土)	7月1日(月)	11月2日(土)	11月5日(火)	11月21日(木)	~	11月22日(金)	9月11日(水)	~	9月13日(金)	5月25日(土)	5月26日(日)	5月27日(月)			
10	新曽北小	6月8日(土)	6月10日(月)	11月2日(土)	11月5日(火)	8月29日(木)	~	8月30日(金)	7月23日(火)	~	7月25日(木)	11月2日(土)	11月6日(水)	11月5日(火)			
11	美女木小	6月22日(土)	6月24日(月)	11月2日(土)	11月5日(火)	8月28日(水)	~	8月29日(木)	7月10日(水)	~	7月12日(金)	5月25日(土)	5月28日(火)	5月27日(月)			
12	芦原小	5月11日(土)	5月13日(月)	11月9日(土)	11月11日(月)	9月5日(木)	~	9月6日(金)	7月18日(木)	~	7月20日(土)	6月1日(土)	6月4日(火)	6月3日(月)			
中学校		学校公開等(4~7月)		学校公開等(8月以降)		修学旅行		スキー教室			体育祭			社会体験チャレンジ			
		計画日	振替休業日	計画日	振替休業日	出発日	帰校日	出発日	帰校日	計画日	予備日	振替休業日	開始日	終了日			
13	戸田中	4月24日(水)	—	10月26日(土)	10月28日(月)	5月20日(月)	~	5月22日(水)	1月29日(月)	~	1月31日(水)	10月26日(土)	10月29日(火)	10月28日(月)	7月2日(火)	~	7月4日(木)
14	戸田東中	—		10月26日(土)	10月28日(月)	6月3日(月)	~	6月5日(水)	2月12日(月)	~	2月14日(水)	5月18日(土)	5月21日(火)	5月20日(月)	9月4日(水)	~	9月6日(金)
15	美笹中	6月6日(木)	—	10月26日(土)	10月28日(月)	6月25日(火)	~	6月27日(木)	1月29日(水)	~	1月31日(金)	10月26日(土)	10月30日(水)	10月28日(月)	1月29日(水)	~	1月31日(金)
16	喜沢中	6月4日(火)~6日(木) —		9月14日(土)	9月17日(火)	5月13日(月)	~	5月15日(水)	2月4日(火)	~	2月6日(木)	6月22日(土)	6月26日(水)	6月24日(月)	11月6日(水)	~	11月8日(金)
				10月26日(土) ※50周年式典	10月28日(月)												
17	新曽中	—		10月26日(土)	10月28日(月)	5月17日(金)	~	5月19日(日)	1月24日(金)	~	1月26日(金)	調整中			12月4日(水)	~	12月6日(金)
18	笹目中	6月4日(火)~6日(木)	—	10月26日(土)	10月28日(月)	5月15日(水)	~	5月17日(金)	1月30日(木)	~	2月1日(土)	6月5日(水)	6月11日(火)	—	9月10日(火)	~	9月12日(木)

令和6年度 南部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問一覧

戸田市教育委員会教育政策室

	学校名	月 日	曜日	研究授業教科等
1	戸田中学校	5月15日	水	総合的な学習の時間
2	美笹中学校	5月20日	月	数学
3	戸田東小学校	6月24日	月	社会・特別支援
4	笹目小学校	6月27日	木	全教科のうちの一つ れか
5	美谷本小学校	7月10日	水	特別活動
6	戸田東中学校	7月12日	金	総合的な学習の時間
7	戸田第二小学校	7月17日	水	生活・総合
8	美女木小学校	9月26日	木	算数
9	喜沢中学校	10月9日	水	総合的な学習の時間
10	新曽中学校	10月15日	火	数学
11	芦原小学校	10月25日	金	特別活動または道徳
12	戸田第一小学校	10月29日	火	生活・総合
13	笹目東小学校	11月8日	金	算数
14	新曽小学校	11月12日	火	国語・算数
15	笹目中学校	11月15日	金	社会科
16	戸田南小学校	1月16日	木	生活・総合
17	新曽北小学校	1月20日	月	特別活動
18	喜沢小学校	1月29日	水	算数

令和6年度 戸田市民大学講座実施計画（生涯学習担当）

No	講座設定根拠 施策・取組	開催目的 講座分類	学習者にとっての 到達目標	テーマ	具体的な内容 (タイトル)	対象者	開催方法	講師	開催日	時間	回数	定員	会場
1	新たな自分に出会う ～学びのキッカケづくり～ 【生きがい・楽しさ】	F 教養 J 新たな学び・学び のきっかけづくり	様々な分野の学びに 触れ、学ぶ楽しさを実 感できる	【大学連携講座】 ・教養、最先端の研究 成果、アカデミックな学 びに触れる機会 ・学び直しの促進	青山学院大学連携講 座 「教育現場の今」	市民(全年齢対 象)	講義形式 (会場開催+オン デマンド)	青山学院大学教員	5/18,25,6/1,8 (土)	午後	4	60	文化会館 304会議室
2					埼玉大学連携講座 「埼玉大学の研究を 共に学ぼう」	市民(全年齢対 象)	講義形式 (会場開催+オン デマンド)	埼玉大学教員	9月・平日	午前または午 後	4	60	市役所 大会議室
3					【記念講演会】 「生涯学習」の楽しさ や大切さを実感できる 機会	未定	市民(全年齢対 象)	講義形式 (会場開催+オン デマンド)	未定	3/8(土)	午後	1	100
4	人生100年時代を豊 かに生きる～ライフス テージや多様な市民 ニーズに応じた学び ～ 【課題解決・ライフス テージ別】	K ターゲット別	子育て世代の悩み解 消、家庭教育に必要 な視点を身につける	【家庭教育講演会】 小中学生の保護者に 対する家庭教育支援	(案)睡眠の質の確保	小・中学生の保護 者、市民(全年齢)	講義形式 (会場開催+オン デマンド)	未定	10/12(土)または 10/19(土)	午前	1	50	市役所 大会議室
5		B 地域課題・社会課 題	社会における多様性 の理解、豊かな人権 感覚の醸成	【人権講演会】 小中学生の保護者に 対する家庭教育支援	(仮)共生社会づくり 障害福祉課と共催 予定	小・中学生の保護 者、市民(全年齢)	講義形式 (会場開催+オン デマンド)	未定	12/7(土)	未定	1	80	文化会館 304会議室
6		B 地域課題・社会課 題	社会における多様性 の理解、豊かな人権 感覚の醸成	【人権教育指導者研 修会】 さまざまな人権問題 の解決に向けた実践 的指導者を養成し、 人権教育の一層の充 実を図る	人権問題	市内活動団体代 表者、市民(全年 齢)	講義形式 (会場開催+オン デマンド)	未定	11月・平日	午後	4	80	文化会館 304会議室
7	まちを元気に 【地域を学ぶ・地域で 活かす・協働で取り組 む】	B 地域課題 D 社会貢献	現代社会の課題につ いて学び、自分自身 ができることについて 考える	【現代課題講座】 現代社会が抱える課 題の実情を把握し、 今後の生活の展望を 切り開く機会とする。	(案)金融リテラシー	市民(全年齢対 象)	講義形式 (会場開催+オン デマンド)	未定	2月	午前	1	60	未定
8		C 地域資源の学習	地域に対する理解を 深める	【とだ学】 市内の施設等の見学 をとおして、市の取 組や地域の特徴につ いて学ぶ	戸田ポートコースを 学ぶ(ポートコース、 艇庫などを見学し、 地域資源を学ぶ)	市民(全年齢対 象)	施設見学	埼玉県ポート協会 他	11月	未定	1	20	戸田ポ ート コース、 戸田 公園 管理 事務所
9		B 地域課題 D 社会貢献	学んだことを地域づ くり活かすための視 点を身につける	【市民企画講座】 講座への市民ニーズ の反映、市民(企画 者)が講師となる機 会の創出	事務局が設定する テーマに即したも の	市民(全年齢対 象)	企画による	企画提案者または 企画提案者希望講 師	12月～1月	未定	1～2	20	未定

【社会教育及び生涯学習に関する講座計画指針に基づく講座分類】

A リカレント講座(就労や起業支援、スキルアップ)	D 社会貢献・ボランティア	G 健康増進	J 学びのきっかけづくり
B 地域における課題解決	E 暮らしに役立つ知識・知恵	H ICTの活用、リテラシー教育、デジタルデバイドの解消	K ターゲットを絞った講座
C 地域資源の学習(とだ学)、郷土愛の醸成	F 教養、アカデミックな学び、産官学民連による連携事業	I 自然体験	

青山学院大学・戸田市連携講座

テーマ「教育現場の今」

教育現場は、現在、大きな転換点にあります。とりわけ、新型コロナの流行を機に、変革の動きは一気に加速しています。第1回から第3回までは、学校における情報教育、読書教育、障害のある子どもの支援について取り上げます。さらに、第4回は生涯学習をめぐる様々な取組についてお話しします。

日時	テーマ・講師
第1回 5/18(土) 午後2時～ 3時40分 市民大学 開講式あり	情報教育の最前線 副学長 教育人間科学部教育学科 教授 杉本 卓 氏 情報教育の具体的な実践を紹介しながら、いま学校現場で起こっていることを知っていただくこと、学ぶということについて学問的にどのような研究が行われてきているのかを知っていただくことをもとに、皆さん自身の「学び方」や「学ぶということについて考え方」を見直すきっかけになればと思っています。
第2回 5/25(土) 午後2時～ 3時30分	子どもの読書と学校図書館 教育人間科学部教育学科 准教授 庭井 史絵 氏 小学校から高校生の読書について、現状や環境の変化を踏まえながら、国内海外のさまざまな取り組みを紹介するとともに、子どもにとってもっとも身近な学校における読書教育のあり方や、学校図書館の重要性について考えてみたいと思います。
第3回 6/1(土) 午後2時～ 3時30分	子どもの学びの多様性と学校現場～心理職の視点から～ 教育人間科学部心理学科 准教授 森脇 愛子 氏 長い年月をかけて多くのことを学ぶ機会がある「学校」の姿と、いまとこれからの子どもの学びの多様性について、心理学の観点、そして心理職としての経験からお話したいと思います。
第4回 6/8(土) 午後2時～ 3時30分	人生100年時代と生涯学習 教育人間科学部教育学科 教授 山本 珠美 氏 地域社会で展開されている社会教育から高等教育機関でのリカレント教育まで、人々の生涯学習を支援する取組の現状と課題についてお話しします。

会場

戸田市文化会館 304会議室

対象・定員

市内在住・在学・在勤者 会場受講 60名

オンデマンド受講（講座終了後、撮影動画を配信）

期間限定・申込者限定公開

視聴方法は裏面をご覧ください。

お申し込み

- ・4月3日(水)9:00から申込み受付開始。先着順。右下の二次元コードからお申込みください。電話・メール・FAXでのお申込みの際は、講座名・氏名・年代・電話番号、受講方法（会場参加または動画視聴）を明記してください。
- ・動画の録画や二次使用は禁止します。

持ち物

筆記用具、市民大学受講票（持っていない場合は希望により配布します。）

1講座1単位 参加費無料

お申込みは
こちらの
二次元コードから

【お申込み・お問合せ先】

戸田市民大学事務局（教育委員会 生涯学習課内）

電話 048-441-1800（内線342） FAX 048-432-9910

メール simin-daigaku@city.toda.saitama.jp

配慮が必要な方はお申込み時にお知らせください。



生涯学習マスコット
マナビィ



おうちでも市民大学を楽しもう！

オンデマンド受講の方法

「オンデマンド受講」とは？

会場の講義の様子を撮影した動画を、後日市公式YouTubeに掲載します。好きな時間に何度でも見ることができる受講方法です(申込者限定・期間限定公開)。



1

申し込み方法

携帯電話・スマートフォン等で右の二次元コードを読み取り、申込フォームに必要事項を入力してください。受講方法は「オンデマンド受講」を選択してください。



2

視聴方法

講座終了から1週間以内を目安に、申込時にご入力いただいたメールアドレス宛に、視聴用のURLをお送りします。URLをクリックすると、動画を見ることができます。

URLの例: <https://youtu.be/>

申込者限定公開ですので、URLの取扱いにはご注意ください。期間限定での公開です。メール記載の公開期間をご確認ください。視聴時の通信料は各自の負担になります。

3

受講後

・視聴用URLと一緒に送りしたアンケートへの回答に御協力をお願いします。

・受講票をお持ちの方には、受講した講座の数に応じて単位(市民大学受講印)を差し上げます。受講票に講座名と受講日を記入して、生涯学習課窓口までお持ちください。

戸田市立小学校卒業児童の私立中学校等への進学者数について

学 校 名	令和6年度			
	A:卒業者数(人)	B:私立等進学者数(人)	Bの前年度差(人)	B/A × 100 (%)
戸田第一小学校	179	25	4	13.97%
戸田第二小学校	166	17	6	10.24%
新曽小学校	75	9	2	12.00%
美谷本小学校	43	2	1	4.65%
笹目小学校	49	1	1	2.04%
戸田東小学校	151	19	6	12.58%
戸田南小学校	106	13	4	12.26%
喜沢小学校	54	1	3	1.85%
笹目東小学校	119	5	4	4.20%
新曽北小学校	119	10	3	8.40%
美女木小学校	116	4	4	3.45%
芦原小学校	112	13	4	11.61%
合計	1,289	119	10	9.23%

私立中学校等(国立中学校、私立中学校)

過去3年間の進学率

年度	進学率 (%)
令和3年度	8.94%
令和4年度	9.68%

令和6年度児童生徒数及び学級数について

令和6年4月1日現在

学校名		児童数(上段)・学級数(下段)								計	前年度差
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支			
戸田第一小	児童数	134	118	136	142	130	140	18	818	51	
	学級数	4	4	4	5	4	4	3	28	2	
戸田第二小	児童数	139	152	147	151	164	147	9	909	33	
	学級数	4	5	5	5	5	4	2	30	1	
新曽小	児童数	121	112	118	132	106	124	12	725	36	
	学級数	4	4	4	4	4	4	2	26	1	
美谷本小	児童数	37	55	55	49	56	51	13	316	2	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	0	
笹目小	児童数	40	33	35	45	43	50	9	255	11	
	学級数	2	1	1	2	2	2	2	12	1	
戸田東小	児童数	135	139	172	192	196	219	22	1,075	16	
	学級数	4	4	5	6	6	6	2	33	2	
戸田南小	児童数	110	122	133	142	116	122	20	765	5	
	学級数	4	4	4	5	4	4	3	28	1	
喜沢小	児童数	70	73	74	59	67	63	17	423	28	
	学級数	2	3	3	2	2	2	3	17	2	
笹目東小	児童数	103	97	107	87	93	97	22	606	15	
	学級数	3	3	4	3	3	3	4	23	1	
新曽北小	児童数	99	119	111	102	104	120	21	676	36	
	学級数	3	4	4	3	3	4	4	25	2	
美女木小	児童数	80	96	136	84	109	119	13	637	37	
	学級数	3	3	4	3	4	3	4	24	1	
芦原小	児童数	101	107	126	107	130	111	0	682	18	
	学級数	3	4	4	4	4	3	0	22	0	
合計	児童数	1,169	1,223	1,350	1,292	1,314	1,363	176	7,887	160	
	学級数	38	41	44	44	43	41	31	282	2	

学校名		生徒数(上段)・学級数(下段)						特支	計	前年度差
		1年	2年	3年						
戸田中	生徒数	203	213	234				17	667	3
	学級数	6	6	6				3	21	1
戸田東中	生徒数	162	194	178				15	549	5
	学級数	5	5	5				3	18	1
美笹中	生徒数	80	98	93				10	281	17
	学級数	2	3	3				2	10	1
喜沢中	生徒数	157	176	171				9	513	0
	学級数	4	5	5				2	16	1
新曽中	生徒数	296	362	330				15	1,003	56
	学級数	8	10	9				3	30	1
笹目中	生徒数	218	217	215				27	677	21
	学級数	6	6	6				5	23	1
合計	生徒数	1,116	1,260	1,221				93	3,690	44
	学級数	31	35	34				18	118	2